

神奈川県新記録のタマムシ 4 種

秋 山 黄 洋

神奈川県昆虫相は多数の昆虫学者、昆虫愛好家が在住しているにもかかわらず、Fauna が貧弱な為か、あるいは一地域の昆虫相解明は単なるリストとしてしか取り扱いを受けない傾向が強い為か、特に他府県に比べて遅れているように思われる。その中で小田原市の平野幸彦氏は昆虫、特に甲虫に関して広い知識を持っておられ、タマムシ科についても神奈川虫報紙上に小田原箱根地方産タマムシについてと題して33種を記録されているが、他にまとまった報告もなく現在に至っている。この理由は日本ではタマムシのような大型美麗種が少なく、ナガタマムシ (*Agrilus*) やチビタマムシ (*Trachys*) のような小型で分類が非常に難しいグループが大部分しめている為である。今回手持ちの標本を少し整理して県未記録の4種を報告することにした。

なお本報告を草するに当たり、常日頃御指導いただいている国立科学博物館動物研究部の黒沢良彦博士特に標本等に御援助いただいた日本鞘翅目学会幹事の露木繁雄・高桑正敏両氏、横須賀市博物館第一研究室の大場信義氏に深謝する。

1. *Nipponobuprestis querceti* (E. SAUNDERS 1873)
クロマダラタマムシ (図版1, 1)

1♂, 神奈川県逗子市, 22. V. 1959, 大場信義採集, 横須賀市博物館所蔵。

本州、四国、九州に分布し、近県では茨城県と静岡県(未発表)に記録がある。どこの産地でも稀な種類で近縁のアオマダラタマムシ *N. amabilis* (Snellen van VOOLLENHOVEN, 1864) (図版1, 2) のようにまとめて採集されるケースはほとんど聞かない。寄主植物はエノキ。

本属は1942年、チェコスロバキアの故Prof. J. OBENBERGERがそれまで *Chalcophorella* KERREMANS, 1903 に含まれている種類を3属3亜種に分割した為、[*Afrophorella*, *Nipponobuprestis*, *Chalcophorella* (*Stigmatophorella*, *Rossiella*)] 本属は現在の所日本特産種である。しかし黒沢良彦博士は甲虫ニュース 36号 p. 2

(1976) で本属は北米の *Taxinia* CASEY, 1909 に極めて近く、区別する必要がないかも知れないと述べている。私は *Taxinia* 属の *T. campestris* (SAY) (図版1, 3) を College of Osteopathic Medicine of Pacific (California, U. S. A) の Prof. G. H. Nelson に *Chalcophorella* (*Stigmatophorella*) *stigmatica* (SCHÖHERR) (図版1, 5) と、*C. (Rossiella) fabricii* (ROSSI) (図版1, 4) をイタリアの D. Gianesso とオーストリアの Jng. G. Novak にそれぞれ標本を送っていただき、*Nipponobuprestis* 属の2種と比較検討した結果、*T. campestris* は前胸背板や上翅の構造 (costa が非常に強い) など、一見 *Nipponobuprestis* 属の2種に極めて良く似ているが、male genitalia 特に penis は太く頑強でこの点では *Chalcophorella* (*Stigmatophorella*) *stigmatica* に最も近い。Prof. G. H. Nelson は *Taxinia* 属を用いず、*Chalcophorella* 属を使用している (私信)。一方 *Nipponobuprestis* 属2種の penis はどちらかというと細長く、この点 *C. (Rossiella) fabricii* に近い。ただし *Chalcophorella* の両亜属の種類ともに上翅の costa は非常に弱い。いずれにしてもこれらの属は互いに近縁な事は明らかで、亜属種度の扱いが妥当と思われる。

2. *Nalanda rutilicollis* (OBENBERGER, 1914) ムネアカチビナカボソタマムシ (図1, 1)

1 ex., 神奈川県逗子市神武寺, 5. VII. 1978, 露木繁雄採集; 2♂♂ 2♀♀, 神奈川県大磯, 5. VIII. 1978, 高桑正敏採集, いずれも筆者所蔵。

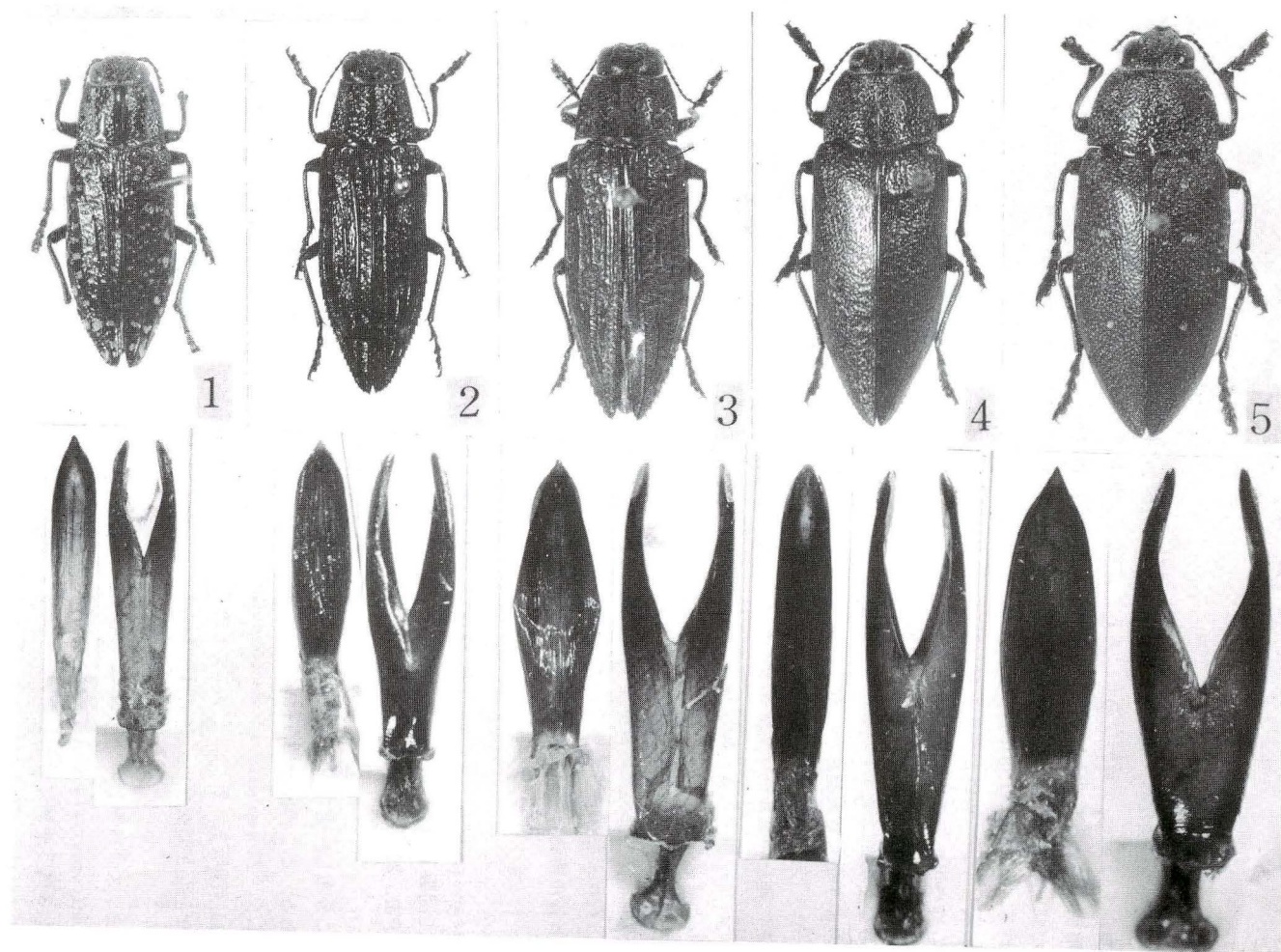
分布: 本州、四国、九州、屋久島、奄美大島、トカラ中ノ島、(未発表) 奄美大島、沖縄本島、石垣島、西表島、外分布: 台湾。

本属に含まれる日本産種は3種類あり、本種が最も分布が広い。ただし琉球列島のものはいくつか分割出来、現在この研究は黒沢良彦博士の手によって行なわれている。分布の北限は福島県で本種は明らかに海流によって分布を広げた種類である。寄主植物はアカメガシワ。

3. *Agrilus yamawakii* KUROSAWA, 1957 コクロナガタマムシ (図1, 2)

3♂♂, 神奈川県逗子市神武寺, 2. VII. 1977, 露木繁雄採集, 筆者所蔵。

AKIYAMA, Koyo: Four new records of Buprestids-beetles from Kanagawa Prefecture (Col. Bupr.)
横浜市磯子区坂下町 1-43



図版1 : 1. *Nipponobuprestis querceti* クロマグラタムシ 2. *N. amabilis* アオマグラタムシ 3. *Taxinia campestris*
 4. *Chalcophorella (Rossiella) fabricii* 5. *C. (Stigmatophorella) stigmatica*
 各々雄背面と交尾器(左、陰茎、右、包片)を示す。

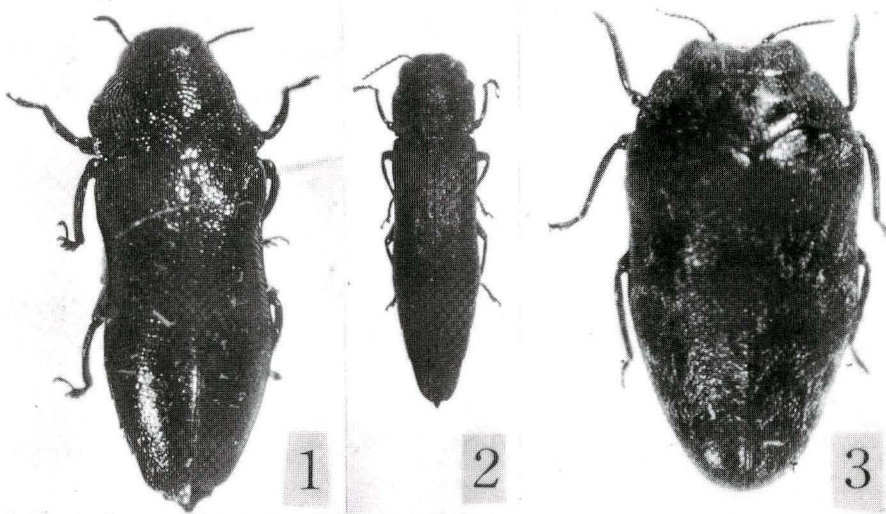


図1：1. *Nalanda rutilicollis* ムネアカチビナガボソタマムシ
2. *Agrilus yamawakii* コクロナガタマムシ
3. *Trachys cupricolor* ドウイロチビタマムシ

分布：本州，四国，九州，対馬。

全てカラスザンショウのすくい網によって得られた今まで近県では東京都御蔵島からの1♂しか記録がない。

*Agrilus*属は日本で50数種が報告され，さらに20数種の未記載，未記録種がある。本属は世界のタマムシの中でも最も分類の難しい属である。

4. *Trachys cupricolor* E. SAUNDERS, 1873ドウイロチビタマムシ（図1，3）。

2 exs., 神奈川県藤野町佐野川，13. V. 1979，高桑正敏採集，筆者保存。

分布：本州，四国，九州。国外分布：台湾。

近県では東京都の日原，高尾山，陣馬山などで記録されている。

参 考 文 献

- 秋山黄洋 1975 伊豆諸島のタマムシ4種. 甲虫ニュース25/26: 10.
CASEY, L. T. 1909 Studies in the American Buprestidae. *Proc. Acad. Washing.* 11(2): 47-178.

平野幸彦 1971 小田原箱根地方産タマムシ科について. 神奈川虫報35: 23-28.

KERREMANS, Ch. 1903 *Wytism. Gen. Ins. fasc. 12*, Bupr.: 1-338.

KUROSAWA, Y. 1957 Buprestid-fauna of Eastern Asia (4). *Bull. Natn. Sci. Mus. Tokyo*, 3(3): 183-194.

黒沢良彦 1970 日本産タマムシ科解説(9). 甲虫ニュース11: 1-4.

黒沢良彦 1974 日本産タマムシ科概説(12). 甲虫ニュース23/24: 1-4.

黒沢良彦 1976 日本産タマムシ科概説(17). 甲虫ニュース34: 1-5.

黒沢良彦 1976 日本産タマムシ科概説(19). 甲虫ニュース36: 1-7.

OBENBERGER, J. 1942 De genere *Chalcophorella* KERREMANS, et generibus vicinis (Col Bupr.). *Acta Soc. ent. bohém. Praque*, 39: 2-10.

SAUNDERS, E. 1873 Descriptions of Buprestidae collected in Japan by George LEWIS ESQ. *Jour. Linn. Soc. Zool. London*, 11: 509-523.